



誰ひとり取り残さないインクルーシブ防災一視覚障害のある方への災害時の支援

人間科学部 講師 北山 裕子

日本はもともと台風や地震などの災害が多い国ですが、昨今、今までにない災害が毎年のように起こっています。甚大な人的被害があった東日本大震災ですが、障害を持った方の死亡率が被災地全体の死亡率に比して高いとされています（平成24年版障害者白書より）。千葉県四街道市にある千葉県視覚障害者福祉協会は、近年、増加する中途視覚障害の方をはじめ多くの視覚に障害のある方に対して、情報とリハビリテーションの一貫した支援サービスを提供することによって、視覚障害のある方の社会的自立を総合的に支援している団体です。当団体と協力しながら、視覚障害のある方への災害時の支援のあり方について、台風被害の聞き取り調査を筆頭に、「障害を持った方が安心して地域生活を送るための効果的な情報提供の方法」、「災害時の困難に対応するためのネットワーク構築をいかに行うか」、「インクルーシブ防災」等について検証・活動を行っています。



社会福祉法人

千葉県視覚障害者福祉協会

